

# 食肉速報

令和4年  
 <2022年>  
 2月18日(金)  
 第10939号

発行所 株式会社 食肉通信社

東京支社 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1 ☎103-0001  
 ☎(03)3663-2011 FAX(03)3663-2015  
 本社 大阪市西区西本町3-1-48 ☎550-0005  
 ☎(06)6538-5505  
 九州支局 福岡市博多区古門戸町3番12号 ☎812-0029  
 ☎(092)271-7816

◇購読料(前納)◇  
 1ヵ年 82,080円  
 <購読料 76,000円  
 消費税 6,080円>  
 6ヵ月 42,120円  
 <購読料 39,000円  
 消費税 3,120円>

THE DAILY MEAT NEWS ホームページ <http://www.shokuniku.co.jp>

- ▽ 総合農林部会等合同会議、輸出促進に関する法律案了承―自民党……………2
- ▽ 「USDA需給予測」22年食肉生産総量、約1066億ポンドで微減……………3
- ▽ 日本ハムが日本初の食物アレルギーア総合プラットフォーム……………4
- ▽ 食肉学校が3月に新人向け食肉業界人育成研修を開催……………4
- ▽ 石垣牛流通協議会が「八重山牛ガール」と交流会を実施……………5
- ▽ 「肉類通関速報・1月」計24万4千tで前年比11・8%増……………5
- ▽ 米久春の新商品発表会②「大龍」レンジ可能に、家飲み需要に新提案……………6
- ▽ 年末商戦を振り返る③外食の回復が影響、売り上げ微増目立つ……………7
- ▽ 関西の輸入牛肉現物相場【米国産チルドは全体的に高騰……………8
- ▽ ベイシアが「和豚もちふたトンテキ弁当」の売上贈呈……………8
- ▽ 【ブライヤー市中現物相場】コスト高にブラジル産、タイ産とも堅調……………9
- ▽ 「大阪の牛・豚枝肉相場」17日……………9
- ▽ 「東京の牛・豚枝肉相場」17日……………10
- ▽ 「各地の豚枝肉・豚部分肉相場」17日……………11
- ▽ 「社告」2022食肉産業展セミナー案内……………12
- ▽ 「資料」12月分の食肉輸入通関実績⑦……………13

目次 (禁無断転載)

りんご和牛  
**信州プレミアム牛肉**  
 登録商標 第5282895号 第5282894号  
**信州牛**  
 登録商標 第1394040号  
**信州牛生産販売協議会**

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売  
**ビセラル株式会社**  
 〒123-0864 東京都足立区鹿浜1-10-20 営業1課 ☎(03)3899-2374

(5) 令和4年<2022年>2月18日(金) 食肉速報 (第三種郵便物認可) 第10939号



**石垣牛流通協議会が「八重山牛ガール」と交流会を実施**  
 石垣牛流通協議会(植村光一郎会長)は12日、沖縄県石垣市で「八重山牛ガール」などと交流会を行った。八重山牛ガールは石垣牛の繁殖経営を行っている子育て世代の女子会で、約30人の女性たちがさまざまな活動を行っている集まり。SDGs5番目の「ジェンダー平等の実現」目標を実践しており、石垣市も2020年に「SDGs未来都市選定証」が授与されている。牛ガールの代表は眞榮城美保子氏(写真中央)。同氏は石垣市の肉用牛繁殖経営で石垣牛の母牛60頭を夫婦で飼養している。

八重山牛ガールからは「子牛市場へ出荷してしまうと、高額購買された子牛が市場で求められていることは理解できるが、それが肥育され、牛肉になったときの評価や消費者がどのように感じているのかを知りたい」との声があがった。「1万頭近くが子牛市場に出荷され、その1割弱しか島内に残らず、自分たちの子牛がどのように消費者に届くのかを見極めてみたい」「もっと島内で肥育され、自分たちでその評価を確認できるのが理想」だという声もあった。これまで石垣牛の需要は島内、島内の観光客と海外からのインバウンドなどに限られていたが、石垣牛流通協議会の活動によって島内以外での需要を創出することが期待されている。なるべく多くの子牛が島内で肥育され、その結果が生産者にフィードバックされ、求められている結果を知り得ることと、より良い子牛づくりに生かせるようになる。

交流会の翌日から八重山畜産市場でせり上場があり、652頭の子牛が上場され、本土の肥育農家へ出荷されていた。石垣牛流通協議会は石垣牛のアグリフードチェーンの構築を目標にしており、消費者はもとより地域環境から子牛生産農家や肥育農家と連携し、再生産可能なモデルを目ざしている。植村会長は「素晴らしい環境で育った子牛が本土の肥育農家に好まれるように、さらにこの場所で肥育されれば、本土に出荷されたどの牛肉より評価が高くなるのは必然だ」と述べ、石垣牛の肥育事業の発展を願った。

「肉類通関速報・1月」計24万4千tで前年比11・8%増

財務省が17日に公表した1月の貿易統計速報によると、肉類の輸入通関量は合計24万4418t(前年同月比11・8%増)と前年同月を上回った。米国からの肉類輸入量は4万9215t(1・4%減)と減少し、EUは3万1011t(30・2%増)と大幅に増加した。また、アジアからは5万7718t(18・5%増)と増加。そのうち中国は1万8440t(53・1%増)、韓国は180t(185・7%増)、ASEANは3万9043t(6・8%増)となった。

肉類通関速報(単位:トン、%)

	数量	伸び率
米国	49,215	-1.4
EU	31,011	30.2
アジア	57,718	18.5
中国	18,440	53.1
大韓民国	180	185.7
ASEAN	39,043	6.8
肉類計	244,418	11.8